

3期目の大山しのぶ市長 これまでの成果の中間報告 (抜粋)

産業経済・観光

地域の特性を活かしたにぎわいと活力のあるまち

- SNSによる情報発信の拡充 (X、Facebook、LINE)。
- 八潮市シティセールスプランのアクションプランの策定 (令和4年度～)。
- 中小企業の販路拡大のために事業所データベースの更新、見本市等での情報発信。
- 新型コロナ禍による困窮事業者への支援としてプレミアム付商品券事業の実施。
- 八潮ブランドの拡大 (R3: 11件 → R6: 14件)。
- 八潮駅周辺の事業所に対し、商店会の組織化に向けた意向調査を実施。
- 中川やしおフラワーパークの環境整備及び観光事業の実施。
- やしお駅前公園を活用した定期的なイベントの開催。
- 産学官連携事業により「八潮かりい」を商品化。
- 中小企業の事業承継支援として事業承継セミナーを開催。
- 多言語サポーターの登録者数増加 (R3: 21人 → R7: 52人)。
- 庁内窓口の自動翻訳機設置 (10台)。
- 農商工連携イベントである枝豆ヌーヴォー祭や枝豆大感謝祭を実施。
- 農業者の協力を得て、親子農業体験を実施。

都市基盤・環境

快適でやすらぎと潤いのあるまち

- 中川河川敷周辺公園等施設整備計画の策定。
- 潮止小学校において、中川やしお水辺の楽校を活用した体験学習を実施。
- 地域に応じた土地利用の誘導として立地適正化計画の策定準備。
- 空き家の実態調査等の実施。
- 排水施設を計画的に整備。
- 八潮市下水道総合地震対策計画 (R4～R13) を策定。
- 八潮中学校、潮止小学校について、八潮市総合地震対策計画に基づき、マンホールトイレを設置。
- コミュニティバスの運営を継続。
- 八潮駅に快速列車の停車を実現。
- 県と協議し、潮止橋架換工事実現へ。
- 北部拠点の形成に向けて、パートナー企業を選定。外環PA等の整備促進、「道の駅」新設、販路拡大へ。
- 地下鉄8号線の延伸に毎年度、同盟会の構成員として、国土交通大臣等に対して、要望活動を実施。
- 交通問題解決のため6市1町で「埼玉県東部地域道路交通研究会 (会長: 大山忍)」設立 (アドバイザー: 東京大学大学院教授、オブザーバー: 国土交通省・埼玉県関係者)。
- 環境負荷への低減を考え太陽光発電システム等設置費を補助。

新公共経営

協働で経営する自主・自律のまち

- 新たな市民の交流の場、防災拠点、省エネ等に配慮した新庁舎が令和5年10月31日竣工、令和6年1月4日オープン。
- 新庁舎に太陽光発電システム等導入。
- 新庁舎に行政の電子化・IoT化推進のためにネットワーク環境の整備。
- 新庁舎・駅前出張所に市民の利便性の向上を目的とした「書かない窓口」を導入。
- 文書管理システム・電子決裁システムの本運用を開始するとともに、令和6年1月からは庁議等のペーパーレス会議の本運用を開始。
- 840 (やしお) メール配信サービスとLINEの連動による、適切かつ迅速な情報発信 (令和6年12月～)。
- ワークライフバランスに配慮し、職員の時間外勤務の縮減 (R3: 78,712 → R6: 67,173)。
- 八潮市公共施設マネジメントアクションプランに基づく、施設の更新・統廃合等に関する取組みを実施。
- 女性の参画促進のため、審議会を所管する担当課に女性委員登用を推進。
- 「八潮市ダイバーシティ社会推進方針」を作成。
- 八潮南高校の1年生を対象に、市の取組とSDGsとの関連についての講座を実施。

※以上は抜粋です。詳細は別途ホームページに掲載します。

Profile 大山しのぶ政策委員長 (第13～15代八潮市長)

- 昭和32年6月5日 八潮市八潮生まれ ■ 八潮町立第三小学校 (現・八潮市立八幡小学校) ~ 草加市立高砂小、私立早稲田中学・早稲田高校を経て、成蹊大学工学部卒。■ サラリーマンの後、昭和61年から国会議員秘書経験12年。■ 平成9年八潮に戻り、家業の農業を継ぐ。
- 平成12年、埼玉県議会議員初当選。(連続4期)
- 企画財政委員会委員、緊急経済対策特別委員会委員、八潮市体育協会会長等を歴任。

- 平成25年13年間務めた県議を辞し、八潮市の再生・発展を目指す市民中心のグループ「新しい八潮を創る市民の会」政策委員長。
- 平成25年9月、第13代八潮市長に就任。
- 平成29年9月、無投票で2期目就任。
- 令和3年9月、3期目就任。

大山しのぶ政策委員長の最新情報はWEBで! **大山市政これまでの実績及び、これからの政策も**大山しのぶホームページにて公開中! www.s-oyama.jp/



新しい八潮を創る市民の会 **連絡先**

皆様のご意見、ご要望等をぜひお聞かせください。
八潮市八潮2-18-8 TEL.048-994-6500 FAX.048-994-6001

新しい八潮を創る市民の会 NEWS



令和7年7月発行

発行: 新しい八潮を創る市民の会ニュース編集部

連絡先: 〒340-0815

八潮市八潮2-18-8

TEL.048-994-6500

FAX.048-994-6001

3期目の大山市政をご報告! 新型コロナ対応、新庁舎開庁、そして、対策中の道路陥没事故…

5年前の2020年の1月15日に、国内で新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、まさにコロナ禍に翻弄されました。通常業務はありながらもワクチン接種や健康被害の問題、打撃を受けた地域経済への対策など、膨大な業務に集中をしました。ワクチン接種に注力し、その結果、2021年12月1日時点で市内12歳以上の全年齢では84.6%、65歳以上では93.1%の方が2回の接種を終え、県内でも一位、二位を争うスピードで実施することができました。医療関係者の皆様をはじめ、多くの方々にご協力賜りましたことに感謝しております。事業者の方たちの資金調達を援助するため、市が利子を負担し、融資金利ゼロというメニューを用意しました。また、コロナ禍で売上が落ちたところへの支援金、飲食店へのテイクアウトデリバリー応援事業など、市独自の視点を加味しながら対策を進めていきました。

2面に続きます

中川流域下水道管に起因する県道道路陥没事故について 経緯と今後 八潮市独自の補償(利子補給)を決定。

1月28日、10時頃、埼玉県が管理する県道松戸草加線の八潮市中央一丁目交差点で、老朽化した中川流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故が発生しました。大山しのぶ市長は、事故直後から、道路管理者である埼玉県に迅速な対応を要請し、市としても連携して住民の避難、ライフラインの復旧、行方不明の運転手の救助活動を進めました。

<これまでの対応>

- **住民避難**: ガス漏れの危険から半径200mの住民が避難。その後、市の判断で警戒区域を設定し、避難所を開設しました。
- **ライフライン復旧**: 水道は2日で仮復旧。ガスは1週間、ネットは1か月で復旧しました。
- **救助活動**: 崩落内部では硫化水素の発生など、困難な状況が続きました。5月2日に運転手が救出されました。

<今後の対応>

- **道路復旧**: 来年3月までに管の土砂を取り除き、その後、

通行止めの道路が2車線で通行できるよう仮復旧の予定です。本格復旧は調査結果を待たねばなりません5年位かかる可能性があります。

■ **補償(市独自で利子補給)**: 補償は、埼玉県は第三者機関による原因究明の結果を待たなければ、具体的に動きにくいというのが現状です。そこで、大山市長は、県の補償などが動き出す前に、被害に遭われた方々が一日も早く通常生活に戻るため、つなぎ融資を受けた際の金利を補助することを決定しました。(詳細は市に確認下さい)

■ **再発防止**: 市は汚水幹線の緊急点検や道路の空洞調査に着手しています。大山市長は、この経験を国などに積極的に情報提供し、国や県にインフラの老朽化対策に取り組む必要性を訴えています。

大野・埼玉県知事に迅速な対応を要望





3期目の大山市政をご報告!

■大山しのぶ市長にインタビュー 1面からの続きです

コロナ禍にあっても 八潮市の未来のための、 計画を着実に策定・推進

コロナ禍で人々との交流や多くのイベントが中止となった中でも、将来への市政の方向づけの作業は着実に進みました。2021年10月には誰もが利用しやすい公共交通網づくりを目指し、次世代交通システムMaaS (Mobility as a Service) 導入を視野にいたれた「八潮市地域公共交通計画」を策定。

2022年は、3月には災害に強いまちづくりに向けた「八潮市国土強靱化地域計画」を策定しました。この年は、北部地区に、初となる「(仮称)外環八潮スマートインターチェンジ」について、国土交通大臣より高速自動車道と八潮市道との連結が許可され、新規事業化が決定しました。スマートインターの整備により、周辺地域の交通利便性の向上、地域の産業活性化、救命救急体制の強化などの効果が期待されます。将来を見据え、乱開発とならないように地区計画を



新庁舎落成式(令和5年11月26日)

進めています。2023年2月には『埼玉県東部地域道路交通研究会』が設立され、大山しのぶ市長が会長に就任しました。これは東埼玉道路が通過・隣接する八潮市、草加市、三郷市、越谷市、吉川市、松伏町、春日部市の6市1町で構成し、県東南部の災害、渋滞対策、広域なまちづくりへの施策提言を目的としています。

共生と協働の原動力、「住みやすさナンバー1のまち八潮」のシンボル・新庁舎が始動!

2024年1月には大山しのぶ市長が1期目在任中から進めてきた新庁舎の建て替えが完了し、業務が順調に始動しました。インフラの拠点、交流の拠点、災害対策の拠点であるとともに持続可能な社会のために環境にやさしく、八潮に住み・働き・集う、すべての方々と行政とが相互理解のもと、目的を共有し、まちづくりを進めていく、共生協働の場となる、まさに「住みやすさナンバー1のまち」のシンボルです。ハード面のみならずソフト面の強化も進めて、市民の方が利用しやすい環境を整え、職員のワークライフバランスにも取り組んでいます。今後もさらに運用面での充実を図って参ります。

2月には安全で子どもたち一人ひとりが「おいしい」と思えるような給食づくりを目指すための「八潮市学校給食ビジョン」を策

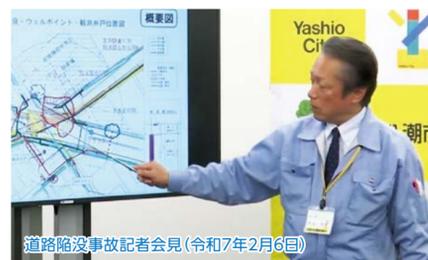
定しました。また、「中川・綾瀬川緊急流域治水プロジェクト」を立ち上げ、11月には国土交通省に、直接、要望し、国、県、各市や町が連携して水害対策を進めています。

また、保育所、小規模保育施設、学童保育所の増設や0歳～18歳までの入院・通院医療費を全額助成する「こども医療費助成制度」を実施、産後ケア事業(短期入所・居宅訪問・通所)を開始するなど子育て支援をさらに充実させました。お年寄りの方々には包括支援センターを整備し、健康づくり、交流の場等を整備して、生きがいを持って生活ができるような施策を進めています。



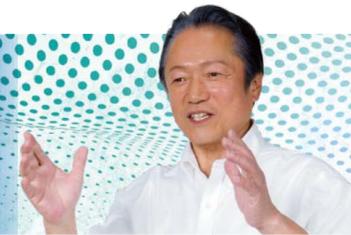
2025年1月、埼玉県が管理する県道松戸草加線の八潮市中央一丁目交差点で、老朽化した下水道の破損に起因する道路陥没事故が発生しました。現在、管理者の埼玉県、そして国と協力し、復旧対策に取り組むとともに、同時に今回を契機に、その他インフラの総点検と安全な運用に大山しのぶ市長は精力的に取り組んでいます。

(編集部:3期の成果については3頁もご覧下さい。これからの八潮市政への取組は次号に掲載します)



道路陥没事故記者会見(令和7年2月6日)

3期目の大山しのぶ市長 これまでの成果の中間報告(抜粋)



教育文化・コミュニティ 学びとつながりを大切にするまち

- ALT(語学指導助手)や日本人の語学指導補助員を市内小中学校に配置し、英語授業や英語活動の補助を実施。
- 駅周辺の児童数増加に対応し、小学校を計画的に新設(令和9年4月開校予定)。
- 市内全小中学校の教室及び体育館にエアコンを導入予定(令和8年3月頃)。
- 学校給食を目指す姿を示す「八潮市学校給食ビジョン」を策定(令和6年2月)。
- 「新体力テスト攻略ハンドブック」を活用、新体力テストの結果分析により9年間の体育授業のつながりに視点を当てた授業改善を実施。
- 少人数指導補助教員、特別支援教育介助員を市内全小中学校へ配置。
- 「八潮市みんなでいじめをなくすための条例(いじめゼロ条例):H27制定」をもとに毎年9月を「八潮市いじめゼロ強化月間」に設定。期間中は全小中学校でいじめ防止周知のため、のぼり旗を掲示。
- 市の歴史文化情報を配信する「れきナビーやしお歴史事典」「八潮市立資料館デジタルアーカイブ」のデータ更新を進め、利用拡大。
- トップアスリートとの交流の機会である「夢の教室」を全小中学校で実施。

健康福祉・子育て 誰もがいきいきと暮らせるまち

- 健康情報にICTを活用し、「八潮市ハッピーこまちゃん健康マイレージ」、令和6年度以降「コバトンALKOOマイレージ」及び八潮市独自事業の「ハッピーこまちゃん健康ポイント」を実施。
- 市内全小中学校で学校保健総合管理ソフトを導入し、健康管理を実施。
- 糖尿病疑いの受診勧奨対象者の病院受診率が通知の工夫や電話により、向上(R3:15%→R6:23%)。
- こども家庭センターを設置。
- 計画的に民間認可保育所等を整備。
- 「幼・保・認定こども園等連携連絡協議会」を年2回実施。
- 認知症サポーターの養成(R3:5,135人→R6:5,782人)。
- 八潮版地域包括ケアシステム構築に向けた、地域支え合いの仕組みづくりモデル事業を実施。
- ワクチン接種のため、医師会と連携し接種体制を構築し、円滑に接種。
- 新型コロナウイルスによる困窮世帯・困窮個人などへの総合支援について機会を捉えて制度を周知。
- 感染防護具等の医療物資の適切な在庫管理体制を維持。

防災・防犯・消防・救急 誰もが安全で安心して暮らせるまち

- 自主防災組織活動団体の支援。
- 総合防災訓練の開催に伴う災害対応の強化。
- 認定防災士を増員。
- 防災備蓄の充実。
- 災害時応援協定の締結(67団体)。
- かまどベンチが設置されている公園数の増(R3:8→R6:15)。
- 国士舘大学防災・救急救助総合研究所において、研修を実施し、八潮こども防災マイスターとして児童生徒を認定。
- 八潮こども防災マイスターに認定されている子供達のブラッシュアップ研修の開催および総合防災訓練の参加で防災意識の高揚を図る。
- 総合的な治水対策として、中川・綾瀬川流域治水プロジェクトを国、都県、区市町との協働により推進。
- 幸和排水施設整備着手。
- 古新田ポンプ場の増築。
- 市内各所への警察と協力した防犯カメラの設置。
- ソーラーパネル付外灯の設置(R3:0→R6:132)。
- 自転車用ヘルメットの購入費を補助。

大山市長に託します! 私の想い、みんなの願い。

「新しい八潮を創る市民の会」へのご意見や政策要望は大山委員長が担当します。皆様からのご意見をお待ちしています。

【順不同】



古庄 正登さん
(商工政治連盟顧問・会社経営)

商工業の振興で さらなる活性化を

代々続く事業に後継者問題はつきものですが、地域経済の基盤である商工業が滞りなく次世代へつながるように、事業承継の施策をさらに充実させて、八潮の商工業を賑わせてください。



柳田 昭彦さん
(会社経営)

安全確保のために 点検をしっかりと

いつも何気なく通る職場付近の道が陥没して驚きました。すぐに市道でほかに空洞がないかの調査が着手されましたが、今後も念入りに定期点検をして再発を防いでください。



塩崎 享哉さん
(大工)

もっと広めたい 八潮ブランド

ブランド認定された商品に、どのようなアイデアが詰まっているのか、ものづくりに関わる人間として興味深いです。八潮の魅力をもっと知ってほしいのでPRの強化をお願いします。



竹本美恵子さん
(会社役員)

すべての市民が 活躍できるまち

市が率先して働き方改革や男女共同参画プランを実践しているのは、多様化するニーズに応える良い見本ですね。性別や年齢を問わず、誰もが輝ける八潮になるよう、期待しています。



高橋 倫代さん
(不動産管理業)

外観も機能も 刷新された新庁舎

住民票の取得は、書類への記入が不要でキャッシュレス決済もできる。未来を見据える八潮にふさわしい庁舎だと思います。住みやすさナンバー1に向けた取り組みを、さらに進めてください。



楠美 京さん
(保育士:現在育体中)

豊富なサポートに 安心して子育て中

子連れで気軽に行ける子育てほっとステーションには、相談窓口やサービスがいろいろあって心強いです。子どもたちの健康と笑顔を守るように、これからもサポートをお願いします。